

(様式3)

令和7年度 みんなが主役！しまねの公民館支援事業 実績報告書

市町村名	安来市	公民館等の名称	荒島交流センター
------	-----	---------	----------

事業の目的	<p>荒島小学校の児童が、荒島交流センターが実施している「キッズもりあげ隊」に参加して、年間を通した活動を行うことにより、児童同士の交流や保護者同士の交流が促進できる。また「キッズもりあげ隊」に協力をしてもらって各種団体の人との交流など地域の幅広い世代との交流も促進できる。</p> <p>活動に参加する住民（児童、保護者）が支援者との交流を通じて、地域住民間の連帯感や地域愛を醸成し、さらなる住民間交流の創出や交流センター事業及び地域活動に参加しやすくなる雰囲気づくりを図る。</p>																																						
事業の実施期間	<p>①年目 2年目</p>																																						
事業の内容	<p>○事業の対象 荒島小学校の児童のうち「キッズもりあげ隊」に参加を希望する児童とその保護者及びボランティアとして活動を支援する地域団体、地域住民</p> <p>○活動の内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">令和7年度 キッズもりあげ隊 活動</th> </tr> <tr> <th>月 日</th> <th>活 動 内 容</th> <th>参加人数（うち児童数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月2日</td> <td>交流センター開放日で西谷交流センター体育館で遊ぼう</td> <td>20名（20名）</td> </tr> <tr> <td>5月24日</td> <td>入隊式 自己紹介カード作り 防災学習会</td> <td>52名（41名）</td> </tr> <tr> <td>6月28日</td> <td>野路山ハイキング</td> <td>60名（38名）</td> </tr> <tr> <td>7月21日</td> <td>井尻川探検&BBQin 上の台</td> <td>58名（29名）</td> </tr> <tr> <td>7月27日</td> <td>よいとね祭り 荒島踊り参加</td> <td>50名（36名）</td> </tr> <tr> <td>8月20日</td> <td>アクアスヘレッツ GO</td> <td>57名（50名）</td> </tr> <tr> <td>10月25日</td> <td>サツマイモ堀り & パステルアートづくり</td> <td>46名（37名）</td> </tr> <tr> <td>11月22日</td> <td>ミニ運動会</td> <td>82名（35名）</td> </tr> <tr> <td>12月21日</td> <td>湖遊館スケート</td> <td>33名（17名）</td> </tr> <tr> <td>3月15日</td> <td>6年生を送る会&お楽しみ活動（予定）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・保護者は活動の見守りとしての参加ではなく、子供たちと一緒に活動したことにより保護者同士の交流を図ることができた。</p> <p>・地域住民や地域団体は、活動のサポートや見守り、食事の提供などを行い、児童及び保護者との交流を図ることができた。</p> <p>[集うためのしかけ・工夫]</p> <p>・児童やその保護者が、普段の生活では体験できないような活動を実施したことで、参加したいという意欲を高めることができた。</p> <p>・地域の方と一緒に活動をする事業を取り入れたことにより参加者が増えた。また世代間交流</p>			令和7年度 キッズもりあげ隊 活動			月 日	活 動 内 容	参加人数（うち児童数）	4月2日	交流センター開放日で西谷交流センター体育館で遊ぼう	20名（20名）	5月24日	入隊式 自己紹介カード作り 防災学習会	52名（41名）	6月28日	野路山ハイキング	60名（38名）	7月21日	井尻川探検&BBQin 上の台	58名（29名）	7月27日	よいとね祭り 荒島踊り参加	50名（36名）	8月20日	アクアスヘレッツ GO	57名（50名）	10月25日	サツマイモ堀り & パステルアートづくり	46名（37名）	11月22日	ミニ運動会	82名（35名）	12月21日	湖遊館スケート	33名（17名）	3月15日	6年生を送る会&お楽しみ活動（予定）	
令和7年度 キッズもりあげ隊 活動																																							
月 日	活 動 内 容	参加人数（うち児童数）																																					
4月2日	交流センター開放日で西谷交流センター体育館で遊ぼう	20名（20名）																																					
5月24日	入隊式 自己紹介カード作り 防災学習会	52名（41名）																																					
6月28日	野路山ハイキング	60名（38名）																																					
7月21日	井尻川探検&BBQin 上の台	58名（29名）																																					
7月27日	よいとね祭り 荒島踊り参加	50名（36名）																																					
8月20日	アクアスヘレッツ GO	57名（50名）																																					
10月25日	サツマイモ堀り & パステルアートづくり	46名（37名）																																					
11月22日	ミニ運動会	82名（35名）																																					
12月21日	湖遊館スケート	33名（17名）																																					
3月15日	6年生を送る会&お楽しみ活動（予定）																																						

のつながりも出来て、郷土愛を育むと共に地域課題の解決にもなったと思える。

[楽しむためのしかけ・工夫]

- ・活動を児童に周知し児童自身が考えて行動することにより充実感を得られるようにした。
- ・「班」編成をすることにより同一学年同士ではなく兄弟姉妹のような助け合いの意識を持たせることで連帯感を醸成できた。
- ・保護者や地域の方と一緒に活動をする事で、世代間交流が出来て、地域住民の支え合いや今後の事業の活性化にも繋がった。

○関係機関との連携（他館、他部局、公民館担当課との連携等についてお書きください）

活動内容の策定にあたり、近隣の交流センターが実施されている事業等を参考にしており、近隣の交流センターの主事の方との連携が深まった。

また、事業の実施に当たり中学生や高校生のボランティアを市内の中学校や高校に依頼し、荒島地区の中学生や高校生に参加してもらった。



アクアスでの見学の様子

活動の様子
などを周知
した方法

- 1 館報
- 2 公民館ホームページ
- 3 SNS
- 4 その他（具体的に)

成果・効果
課題
今後の見通し

今年度の事業を行ったことにより、学年やクラスの枠組みを超えて、小学生の児童同士の交流をすることができ、同世代の中での連帯感や助け合いの意識を持たせることができた。

また、保護者や「キッズもりあげ隊」に協力してくれる地域団体の皆さん、中高生ボランティアといった幅広い年代、属性の地域住民との交流も促進されたことで、地域住民間のつながりづくりや地域愛を醸成することができた。

更に、住民間の交流が促進されたことにより、今後の交流センターの事業や荒島地区内の活動がより活性化出来るようになった。

来年度も新たな活動も取り入れて事業を行いたい。